



東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...



福玉便り

2015年6月1日発行

ふく たま だ よ り

通巻 第37号

発行『福玉便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・生活協同組合コープみらい埼玉県本部

編集デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉メール:fukutama@431279.com

連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731

印刷協力:富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部

WATER ADVENTURE 東京サマーランドにご招待

7月25日(土) 先着順に300名
西部第四地域労福協が主催する
「サマーイベント(東京サマーランド)」に300名をご招待します。



●日時 7月25日(土) 午前10時からのセレモニーに参加してください。

●会場 東京サマーランド(東京都あきる野市) 現地集合

●ぼろろん♪カフェもオープンします。

●送迎ぼろろん♪バスが走ります。

7:30さいたま新都心～ 8:30 鶴ヶ島駅 ～ 9:20 東京サマーランド

●お申込 電話で 048-833-8731(埼玉労福協)まで。

※平日の午前10時～午後4時の間。

2015年6月15日(月)午前10時～7月10日まで
先着順に200人のご招待です。

※土日は受付はしておりません。

パリ祭

シャンソンコンサート へのご招待

7月12日(土)

14:30開場 15:00開会

国立女性教育会館7エック



シャンソンの名曲を一流のシャンソン歌手が分かりやすく楽しく聞かせてくれます。誰でも聴いたことがある曲を中心に、とっても楽しい曲がいっぱいです。

出演①岩崎桃子(主演) ②古澤利人 ③小林遼介
④真笛ひびき(元宝塚歌劇団) ⑤広瀬真弓(スペシャルゲスト)

●100名無料ご招待頂きました。(今年で4年目、毎年お声掛け頂いています。)

●お申込み・お問合せ 048-833-8731
埼玉労福協まで

今年の夏も!
恒例イベントの
ご案内です。
お出かけください!!

ときがわで川遊びと バーベキュー!



8月2日(日) 午前10時～16時頃

比企郡ときがわ町旧大柵第一小学校跡地

暑い埼玉の夏を楽しく乗り切るために、親子で山歩き&川遊びをしませんか?川遊びの後はみんなでバーベキューを楽しみます埼玉で《田舎あそび》をしましょう!

●集合・受付 ときがわ町「建具会館駐車場」

●会場 比企郡ときがわ町旧大柵第一小学校跡地

●募集人員 中学生までの子供をもつ家族80人

●参加費 大人500円・中学生以下無料

●お申込み・お問合せ

048-833-8731 埼玉労福協まで



富岡カフェin越谷

6月23日(火) 11:00-

富岡カフェ in 越谷を開催します。

会場は「コーププラザ越谷」

主催: 富岡町県外避難者支援拠点埼玉事務所/埼玉県労働者福祉協議会

NHK FMさいたま 『福玉便り』コーナー

毎月第4火曜日
午後6時～午後6時50分

(FM85.1MHz
秩父83.5MHz)



☆第6回放送は6月23日(火)午後6時～午後7時の間の「生放送」です。

♪6月11日は 川口市で開催!

ぼろろん♪の時間×「チェルノ
ブイリ28年目の子どもたちⅠ・
Ⅱ」上映会

日時:6月11日(木)10時~15時
会場:川口キュボ・ラ内、川口市立映
像・情報メディアセンター メディア
セブン(川口駅徒歩1分)
参加費:無料
申し込み:070-5594-0053(鈴木) /
heer@kxa.biglobe.ne.jp(吉田)
※会場の関係で、先着100名です。
※お昼ご飯は各自でご持参くださ
いね。ランチスペースで食べましょ
う。

6月11日は、午
前中は交流会、
午後1時から
「チェルノブ
イリ28年目の子
どもたちⅠ・Ⅱ」

の上映会を行います。チェルノブイリ
原発事故から28年。子どもたちの健康
状態は?学校生活は?健康を守るウ
クライナの仕組みとは?日本はここから
何を学べるのか?ぜひご参加くださ
い。

福島市の平均よりやや高めとされるコ
ロステンの子どもたちは2万人が移住
しました。25年間の積算線量は平均15
~25ミリシーベルトとされています。
当日はQ&A資料もお渡しします。
パパ・お子さんも大歓迎です!(保育
スタッフをお願いする予定です)



自主避難ママの
ゆるやかな集まり~
ぼろろん♪の時間
ですよ



♪7月11日は さいたま市で開催!

ぼろろん♪の時間×冒険遊び場
別所沼で子どもも思いっきり遊ぼう!
ママも思いっきり話そう!

日時:7月11日(土)※時間は次号に
てご連絡します。午前からの開催を予
定しています。
会場:別所沼公園 & 別所沼会館
(「正丸」という和室で交流会)
(住所:さいたま市南区別所4-12-10/
JR埼京線・南浦和駅から徒歩5分)
参加費:無料
※この日は、別所沼会館にてお弁当を
注文します。1週間前の注文が必要に
なりますので、ご参加の方はお早め
にお申し込みください。先着30名です!



♪今後の予定~

7月末:サマーランドまでぼろろん♪
バスを運行します
8月2日(日):ときがわ町BBQ会場に
ぼろろん♪コーナーを作ります
9月11日(金):狭山市 交流会
10月11日(日):秩父市 交流会
11月11日(水):熊谷市 交流会
12月11日(金):春日部市
クリスマスイベント
1月11日(月・祝):ふじみ野市 交流会
2月11日(木・祝):上尾市 交流会
3月11日(金):さいたま市 交流会

■**メーリングリスト登録の問い合わせ**
は cheer@kxa.biglobe.ne.jp(吉田)
までご連絡ください。

♪ハンドマッサージはじめます♪
「昔、エステのお店で働いていたん
です」——いわき市から避難して
いる松崎みゆきさん(ぼろろん♪
編集メンバー)が、交流会会場に
て、ご希望の方にハンドマッサー
ジを行います。アロマの香りとマ
ッサージで日頃の疲れをいやしませ
んか?

東日本大震災ドキュメンタリー映画上映会

『希望をささえる』

取材・構成・演出:伊藤義将

13:30~第一部 映画上映会 入場無料

15:00~第二部 防災について対談 15:30~第三部 懇親会

場所:シラコバト団地 第一集会室 埼玉県上尾市大字上370(駐車場有)

問合せ:シラコバト団地自治会 048-607-6723

東日本大震災に咲く会 ひまわり 橘 080-3091-6215



説明会:原発被害者生活支援法案・骨子

(衆議院法制局の協力を得てまとめたもの)

7月7日(火)13:30~16:30

会場:さいたま市民会館うらわ浦和区仲町2-10-22

交通:JR浦和駅西口下車、浦和ロイヤルパインズホテル裏

参加:無料(福島の避難者の皆さんをお待ちしています)

主催:原発被災者義援の会、説明者/代表矢内世夫

共催:NPO法人・全国福島県人友の会/代表理事佐藤純俊

連絡先:矢内(090-1509-4615)、佐藤(090-7185-2877)

榊葉町住民懇談会に参加して

—いわき明星大学5・10

■国による説明

榊葉町では7月6日より、「帰還のための準備宿泊」がはじまります。冒頭、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉についての説明があり、その後、榊葉町の復興計画について説明がありました。

午前はおよそ50人、午後はおよそ20人の参加者から、質疑応答では8の方がご発言されていました。

■住民の質問

一通り国からの説明が終わったあと、住民の質問の時間がもつけられました。

「山間部の除染はどうするの



か」「中間貯蔵施設への運搬に

おける車両・規則・付近住民への安全性はどう確保されるのか」「準備宿泊が3か月終了した時点で解除されるというが、『誰が』『誰の』意見を聞いて解除指示を出すのか」「食べ物も含めて、子どもへの影響に對する不安がある。チエルノブイリを参考にしてほしい」「家屋の『半壊』の基準が知りたい」「木戸ダムの水は安心できない。泥を全部取ってほしい」「コンパクトシティに診療所を作るそうだが、医者が誰なのか、というのが重要」「復興住宅もできていないし、帰るのは年配者ばかりではないか」「20ミリシーベルトは『避難しなさい』の数値だったが、今度は『解除』の数字になっているのはおかしいのではないか」

——そういった意見・質問が寄せられ、それに対する国による回答がありました。

原子力災害現地対策本部の担当者は、「7000人の町。丁寧にする。課題は把握できたので、我々のほうで考える

ステージだ」と話しました。

「懇談会の参加者は若い人はほとんどいなく、中高年が多かったが」という報道記者の質問には「おっしゃる通りで強制的にやるわけにはいかない。そこは課題」と答えています。

■仮設住宅にお伺いし

午前の部が終わってから、近くにいたおばあちゃんに話しかけました。しばらくお話ししていたのちに、「仮設住宅に来る？」と言ってくださったので、そこから徒歩20分の場所にある仮設住宅にお邪魔しました。

おばあちゃんは、杉本貴子さん(71)。震災前は家族3人で住んでいましたが、今は単身で仮設住宅にいます。

「本音では帰りたくないんだよね・・・いまの生活に慣れてしまったし」

高低差のある道のりを歩きながらぼつりと小さな声で杉本さんは言いました。

「帰ったって、お父さんもいなくなっちゃったし、クルマは運転できないし、

生活できるんだろうか」

「お父さん」杉本さんの夫は2年前に脳こうそくで亡くなりました。突然のことだった、と杉本さんは話します。

「もし避難していなかったら死ななかつたんじゃないかな、と思うこともあります」

避難生活が長期化して、タバコの量が増えたと言います。

「お父さんが生きていたら帰りたいと思ったけれど、お父さんが亡くなって、家の中にあったもの、全部処分しちゃったから・・・」

写真を見せてもらいながら、榊葉町にいた頃のことや、避難生活が始まってからのことなど、さまざまに思い出話を聞かせてもらっているところに、杉本さんの友人のAさんが訪ねてきました。

Aさんは、榊葉町で杉本さんと同じ団地に住んでいたそうです。

「私たちのような単身者は

どこに行けばいいのかな、と悩みますよ。引越させて

『はい終わり』にしたいのかなあ・・・と思ってしまいます」

とAさんは言います。今後の生活について、ご近所でも話題になりますか？と尋ねると

「私たちのような親しい間ではよく相談するけれど、ご近所ではあんまりしないよね・・・みんなそれぞれ違うかもしれないし、遠慮しているのかな」

と答えてくれました。

「本当は帰りたくないんだけど、仕方ないね・・・でも、ちゃんと税金払えるのかしら、とか心配なことばかり」

Aさんはそう言います。「今度は泊まりにいらっしやい」

その言葉を繰り返し思い出しながら帰路につきました。

(編集部／吉田)



福玉募金への協力、 ありがとうございます！

『福玉便り』編集部では、2013年3月から、福玉募金を呼びかけてきました。

これまで2年間で、総額926,414円ものご寄付をいただきました。

毎月定額を振り込んでくださる方、多額のご寄付をくださる方、イベントなどで集めたからおくつくださる方、そして、「少しでもお礼がしたい・お役にしたい」と避難されている

たくさんの方々から多くのご寄付をいただいています。

支出は主に、助成金をいただいている期間の発送などの経費および助成金では対象経費となっていないものについて使わせていただいております。

本日に助かっております。あらためて御礼もうしあげます。今後も大切に使用させていただきます。

これからもよろしくおねがいいたします。
(ハンスオン)埼玉事務局／編集部・西川

A 募金総額 926,414 円	
B 支出合計 835,232 円	
通信運搬費	402,791
印刷費	213,900
交流会補助	59,306
その他	13,135
管理費	146,100
2014.4～8月の福玉郵送料等 福玉号外、ぼろろん印刷費等 南相馬、ぼろろん等の交流会費補助等 雑費支払手数料等 事務アルバイト謝金等	
A-B 残額 91,182 円	

●福玉募金の送金はこちらへ
郵便振替口座▶ 00160-0-291210
銀行 ▶中央労働金庫さいたま支店
普通預金6600705
銀行振込の場合は、お手数ですが、メール・電話等でご一報ください。領収書等お送りいたします。
問い合わせ▶認定NPO法人ハンスオン!
埼玉 TEL048-834-2052
※寄付金には、税額控除があります。

●メッセージ

寄付と同時にいただいた郵便振替メッセージです。ごく一部ですが、ご紹介させていただきます。

○いつも貴重な情報を載せた便りがありありがとうございます。

○避難者です。いつもご支援ありがとうございます。

○可能な限りとなり居る人でありたいと願っています。

○楽しみにしています。知り合いに配りたいので多めにいただけますか？

○避難されている方々の実情を知らせていくためにまたいへん貴重だと思えます陰ながら応援させていただきます。

○川越の西はずれで小さなカフェをやっています。何かの集まりに場が必要なら喜んで提供いたします。

○避難してきて知人のいなくなつた私にとつてもありがたい情報もいつもありがとうございます。

○家庭菜園で作った野菜を地域の方々に買っていただいたお金です。

○お役に立てればうれしです。生きてゆかねばなりませんから。

○皆様お元気で、粘り強く！応援しています。

○長期の避難生活 福島、埼玉でがんばりましょう。

○いつもお世話になってありがとうございます

○ありがとうございます。おかげさまでつながるな、と感じます。

○ささやかですが応援の気持ちです。

○とても記事が充実しておもしろいです。応援しています。

○1ヶ月のすぎるのが早くて忘れてしまいました。たった数ヶ月ですよね。朝日新聞のプロメテウスの罫を読みながらあの時の恐怖と絶望感を思い起こしています。未だもに戻れない皆様のこと、絶対に忘れてはいけません。(注・毎月送付くださっています)

○今日一日過すこと自体ががんばるすゝめことです。

○いろいろなイベントがあっても参加できないことが多い日常ですが、心だけはつながりたいと思います

○わずかな金額で申し訳なく思っています。お便りを毎月楽しみにしております。皆様の活動に心から感謝しています。

○いつも拝読させてもらっています。この「たより」のおかげで「1」を私の中にしっかり受け止めることができ、「復興」の今を知ることができ、支援する人間として感謝しています。

○イベントがたくさんある様です。少しでも多くに参加して皆様との交流ができればと思います。埼玉もよいところですよ。

○いつもありがとうございます。感謝でいっぱいです。

○福玉便り楽しく読ませていただいています。少しばかりですが皆様のお役に立てたらと思います。

○情報満載便りの1年分購読料のつもりで送りました。

○避難していらつしやる方々、どうかご自分を責めないでください。

○避難者が思い出の埼玉県となるように頑張ってください。私達も一日でも早く帰れるように祈念しております。

○不安だらけですが安心して生活できるような活動をお手伝いしていきたいです。

○何もできないですが、思いたけは！風化させない！

○毎号拝読しています。編集部のみなさんには本当に敬意を表したいです。微力ですがこの福玉便りで現実を知ることと募金で関わっていきたくです。よろしく！

○いつもお世話になります。浪江町から点々と避難生活も4年目となりました。95歳の母との生活は大変ですが義母のときも同じだったな〜と思ひ出されます。

○今回は3月までいただいた方のメッセージです。4月以降いただいた方のメッセージはまたあらためてご紹介いたします。

↓控除には、所得控除と税額控除があります。認定NPO法人に年20000円以上寄付した場合、その4割(例えば1万円寄付したら4千円)が、確定申告等で税額から差し引かれます。

今回は郵便振替によるメッセージのご紹介させていただきました。寄付して下さった方のお名前など、また改めて誌面でご紹介させていただきます。

「決められない」暮らしの中で…

震災支援ネットワーク埼玉(SSN)の調査から

●埼玉県の避難者概況

私たち震災支援ネットワーク埼玉(SSN)では、法律やこちらの専門家と共に埼玉県内各所で開催されている避難者交流会にお伺いしたり、電話により、個々に抱えていらっしゃるお困り事の解決に向けた相談活動を行っています。

埼玉県への避難者数は、復興庁による集計によれば、2015年3月末の時点で5、575名となっており、福島県からの避難者数は5、011名となっています。

一方、福島県が実施した調査データによれば、避難指示区域からの避難者が約8割強で、避難指示区域外(いわゆる自主避難)の方は17・8%。また、福島県からの避難者の約2割が福島県内への帰還を、約3割が福島県外への移住という意向を持つ一方で、残りの5割の方々はまだ、これから先の事が決められない状況にあるようです。

●帰還か、移住か、迫られる選択

これまで原発事故による避難者は、原発事故という未曾有の事故によって、さまざまな選択と決断を余儀なくしなければ

なりません。それぞれの事情を抱えながらのギリギリでの選択であったことでしょう。

そして今、新たな「決断」が求められています。

平成25年10月30日、政府与党は福島県民の全員帰還を断念。帰還困難区域の住民に「移住」を推奨する方針を発表。これに続いて12月26日、文部科学省の原子力損害賠償紛争審査会(原賠審)は、中間指針第四次追補を公表。住宅や宅地など、新たな土地での生活再建が可能となるよう、一つのおおきな「区切り」が国から提示されたことになりました。

これに伴う申請手続き、土地の名義変更などの相談がSSNにも多数寄せられています。

お寄せいただく相談として、賠償請求を行うにあたって、所有する土地が先祖代々のものであり、相続手続き、登記の名義変更が必要な事例が数多く、司法書士などの法律の専門家から助言させていただいたり、最寄りの専門家を紹介するなど、具体的な解決に取り組んでいます。

●「成年後見制度」の活用も視野に

今年2月、かねてから私たちが恐れていた事が起こりました。

埼玉県東部地区にお一人で暮らす高齢の方です。避難元では3世代同居だったのですが、避難先の借り上げ住宅は狭く、同居ができず別々で避難生活が続いています。娘さんが高齢の母親宅に行った際に、新たな物品があることを見つけ尋ねた所、訪問販売により、不当に高額と思われる金額で購入したものであることが判明。今後、賠償金を目当てに2次、3次の被害に遭わないように警戒を強める必要があり、一つの手段として所轄裁判所と連携しながら、専門家による成年後見制度を利用することを検討中。この制度がまだ広く一般には知られていないこともあり、普及も兼ねながら必要に応じて対応ができるよう、準備を進めているところです。

●帰還か移住か、まだ決めかねる方が多い状況

冒頭に書いた通り、今後のことがまだ決められない状況にある方が、約半数と、まだまだたくさんいらっしゃいます。

特に、SSNが埼玉、東京に避難中の世帯を対象として行った大規模調査では、震災により

失業した方、廃業に追い込まれた方は54%もあり、特に中高年の方はハローワークに通っても仕事が見つからないという声が多く寄せられています。

2015年度には南相馬市小高区、楮葉町、富岡町の一部などの避難指示解除準備区域において避難指示の解除の動きが始まるものと思われ、解除となった場合、1年後には精神的慰謝料の賠償金の支払いも停止となるものと思われ、社会的インフラも、コミュニティも崩壊し、除染の効果についても疑問視されている中で、仕事を奪われ、新たな仕事が見つからず、年金受給まで数年も先となる年齢層の方々にとって、生活再建は険しい道程となるものと懸念されます。

また、このころの問題として、PTSD(心的外傷後ストレス障害)の疑いが持たれる方が6割近くもいます。避難生活中に疾病を抱えた方、二重生活による経済的困窮、家族離散など、それぞれに様々な事情を抱えながら、今後の事を決められない方が大勢いらっしゃる状況はこの先も続くことでしょう。

そして、将来に向けて重要な「選択」が、多くの方にとっては簡単にできるものではないことを、国や行政、さらに広く一般にいたるまで理解していただければと願っています。

●今後の支援活動の課題

故郷を追われ、見知らぬ土地で生活再建を余儀なくされる方にとっては、新たな地域に溶け込みながらも、故郷の人々との絆を失うことのないような、新たなコミュニティづくりが重要なものとなることでしょう。

一方で、「多くの要因が多重に折り重なる精神的苦痛により「帰還」か「移住」か、迫られる選択に対して、すぐに動き出せない約半数の方々の中には、高齢、障害、母子など、セーフティネットが必要となる方もいらっしゃいます。

発災から5年目を迎えて、社会福祉士などの福祉の専門家や行政窓口との連携も強化し、個々の状況に応じたサポートを行うっていくことが、私たちSSNにとって重要な課題となっています。お困り事がありましたらぜひご連絡ください。電話ください。解決方法を一緒に考え、各方面の専門家とともに具体的な解決に取り組みます。

(震災支援ネットワーク埼玉 愛甲 裕)

震災支援ネットワーク埼玉(SSN)
避難生活なんでもダイヤル
電話番号:048-829-7400
受付時間:毎日10:00~18:00

3 双葉町老人クラブ女性会 & さいがいつながりカフェ
 定例月1回9:30~11:30
 6月4日(木),7月2日(木)
 定例サロン
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 080-5532-7380(薄井さん)

4 寄り添いステーション ころっせ くわっせ双葉
 各種イベント、マッサージ手作り品、地元の野菜などのコーナーがあります。
 不定休 13:00~
 寄り添いステーション 騎西
 加須市正能11-5
 090-1650-2874(富沢さん)

5 ぴえろの遊び広場
 子どもの遊びとお母さんたちのサロン
 6月28日(日)10:00~14:00
 騎西コミュニケーションセンター
 加須市 sai.jacdp@gmail.com
 日本臨床発達心理士会 埼玉支部

6 負けねっちゃきらり
 石巻から伊奈町に避難されている高橋さんが呼びかけています。どなたでもどうぞ。
 伊奈町 ☎ 090-7244-9267(高橋さん)

7 向原団地被災者の会
 小さな会です。上尾近隣の方、つながりましょう(^ ^)！
 毎月第2土曜日18:00~
 6月13日(土)※飲み物食べ物と集会所使用料(100円)持参
 向原団地集会所
 上尾市 ☎ 080-6044-2922(富永さん)

8 東日本大震災に咲く会 ひまわり
 シラコバト団地を中心に情報交換会と物資配布を行っています。
 毎月第1土曜日10:00~12:00
 6月6日(土)、会合
 6月13日(土)映画上映会※詳細は2ページ
 7月4日(土)シラコバト団地祭(浪江焼きそばで出店)13:30~21:00
 シラコバト団地第一集会所
 上尾市 ☎ 048-607-6723(団地自治会事務所)、☎ 080-3091-6215(橋さん)

9 "想い"
 情報紙"想い"の発信や賠償説明会などを不定期に開催しています。
 7月1日(水)11:00~お茶会
 篠原さん宅※日程変更の可能性あり
 鴻巣市 ☎ 090-3981-3258(篠原さん)
 345shinohara@ezweb.ne.jp

11 羽生つながりカフェ
 6月は休会です
 毎月第2日曜日13:00~15:00
 パープルふれあい広場
 048-561-1681
 羽生市 ☎ 080-5532-7380(薄井さん)

12 お茶っこふるさと会
 毎月第4 週水曜日10:00~12:00
 6月25日(木)定例サロン
 ネット21 久喜事務所
 久喜市本町2-1-59
 ☎ 090-6855-7140(木幡さん)

10 ふるさと交流サロン
 21回で閉会しましたが、再会の機会をつくりたいと思います。
 熊谷市 ☎ 080-5430-5452(駒宮さん)

14 春日部つながりカフェ
 日程調整中
 コーププラザ春日部 2F第1会議室
 ※法律家参加、法律相談できます
 048-829-7400(SSN)

15 ひだまり広場
 月1回参加費無料12:30~16:30
 6月21日(日)7月19日(日)
 ほっと越谷(北越谷駅東口1分)
 ☎ 090-2433-6057(廣瀬さん)

こちらのサイトにも情報があります。
<http://431279.com/>
 (SSN震災支援ネットワーク埼玉)

13 杉戸元気会 つつじの里サロン
 定例サロン 毎週木曜日13:30~15:30
 国家公務員宿舎杉戸住宅(つつじの里サロン)杉戸住宅6-301
 ☎ 0480-33-3455(佐藤さん)

21 梨の実スペース
 大熊町コミュニティ支援関東事務所
 大熊町出身の復興支援員もお待ちしていますのでぜひ遊びにきてください！
 ※金曜日以外にお越しの際は、事前にご連絡ください。
 毎週金曜日10:00~16:00
 大熊町コミュニティ支援関東事務所
 さいたま市浦和区仲町2-15-4
 ☎ 048-711-7135

16 越谷避難者の会
 6月 ブルーベリー狩り
 ※日程調整中
 越谷市 ☎ 090-9425-2001(石上さん)

20 つながろう!放射能から避難したママネット@埼玉
 不定期で開催中、連絡お待ちしています♪
 bjskr146@yahoo.co.jp(木村さん)

22 浪江のしゃべり場 浦和の8畳間
 浪江町の復興支援員が常駐しています。お気軽に遊びに来てください。
 月曜日~金曜日10:00~17:00
 浪江町復興支援員 埼玉事務所
 さいたま市 ☎ 048-833-8731(埼玉労福協)

26 お茶飲み交流会
 市内に避難してきた方々の「お茶のみ交流会」を2か月に1回のペースで実施中。
 隔月1回 10:00~12:30
 鶴瀬西交流センター 富士見市
 ☎ 049-251-2711(富士見市安心安全課)

27 おあがんなんしょ
 1 いろいろばだ本音で語り合う時間
 2 お茶にすっぺ!ワイワイ楽しい時間
 6月21日(日) 新聞紙でバッグをつくらう 13:00~16:00
 7月12日(日) セタ飾りとメッセージを青竹につけよう10:00~16:00(軽食あり)
 ふじみ野市 フクトピア
 ☎ 090-5345-8408(松館さん)

28 ここカフェ@川越
 心の内を話せる場、お子様連れも大歓迎です。
 *ご参加の方は昼食をご用意しますのでお電話くださいね
 毎月1回10:00~15:00
 6月27日(土)JUNホール
 070-5080-4494(鈴木さん)
 7月25日(土)東京サマーランドで交流会

7月	1日(水)	9
	2日(木)	3 13
	3日(金)	21
	4日(土)	8
	5日(日)	
	6日(月)	
	7日(火)	
	8日(水)	
	9日(木)	19 17 13
	10日(金)	21
	11日(土)	1 24
	12日(日)	27 2
	13日(月)	
	14日(火)	
	15日(水)	18
	16日(木)	13 2
	17日(金)	21
	18日(土)	
	19日(日)	15
	20日(月)	
	21日(火)	
	22日(水)	
	23日(木)	19 13
	24日(金)	21
	25日(土)	28 3
	26日(日)	25
	27日(月)	
	28日(火)	
	29日(水)	
	30日(木)	13
	31日(金)	21

1 ぼろろん♪の時間 詳細2ページに
 6/11(木)「チェルノブイリ28年目の子どもたちI・II」上映会
 川口市立映像・情報メディアセンター
 7/11(土) 別所沼で子どもも思いっきり遊ぼう!ママも思いっきり話そう!別所沼公園(さいたま市)

2 パリ祭シャンソンコンサートへのご招待
 7/12(日) 14:30~ 詳細1ページに
 ヌエック(国立女性教育会館)ホール 詳細は1ページ

3 東京サマーランドへのご招待
 7/25 10:00~ 詳細1ページに
 東京サマーランド(東京都あきる野市)
 詳細は1ページ

4 富岡カフェin越谷
 6月23日(火) 11:00-「コーププラザ越谷」

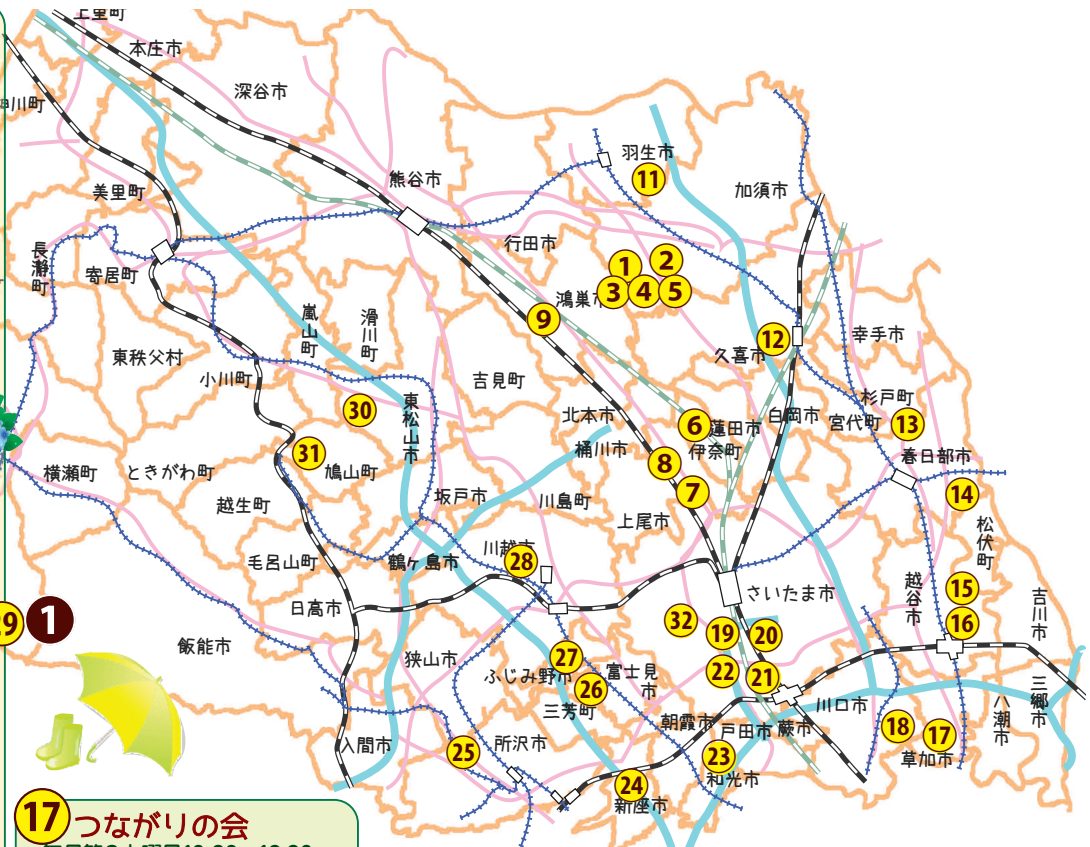
5 説明会:原発被害者生活支援法案・骨子
 7月7日(火)13:30~16:30 詳細2ページに



1 双葉町民によるボランティアカフェ
 月1回 10:00~15:00
 6月11日(木)歌の会
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 加須市騎西501-13 048-829-7400 SSN

2 社協と地域と生協のサロン
 味噌汁とおにぎり地域の方々の情報交換の場をつくっています。お気軽にお越しください。
 毎月第3木曜日 10:00~15:00
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 加須市騎西501-13

1日(月)	
2日(火)	
3日(水)	
4日(木)	3 13
5日(金)	21
6日(土)	3 8
7日(日)	
8日(月)	
9日(火)	
10日(水)	
11日(木)	17 19 13 1 29 1
12日(金)	21
13日(土)	7 23 24 8
14日(日)	
15日(月)	
16日(火)	
17日(水)	18
18日(木)	2 13
19日(金)	21
20日(土)	
21日(日)	15 27
22日(月)	
23日(火)	4
24日(水)	
25日(木)	12 19 13 29
26日(金)	21 ★
27日(土)	28
28日(日)	5 25
29日(月)	
30日(火)	



17 つながりの会
 毎月第2木曜日 10:30~16:30
 6月11日(木)、7月9日(木)
 東北復興支援販売
 物産・観光情報センター
 (草加駅西口徒歩1分) 草加市高砂1-1-1
 ☎ 048-932-6770 (草加市社協)

23 和光3・11 つながりカフェ
 6月13日(土) 11:00~15:00
 総合福祉会館1階 喫茶スペース
 参加費300円※弁護士参加、シニア合奏団の演奏あり、昼食は新湯のお蕎麦
 ☎ 048-452-7606 (和光市ボランティアセンター)

29 鳩のつどい
 月2回 10:00~12:00
 6月11日(木) パラソルカフェ
 6月25日(木) 鳩のつどい
 JAXA鳩山宿舎108号 鳩山町
 ☎ 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)

30 きずなの会
 毎月交流会を行なっています。
 雇用促進住宅 東松山市

18 ひまわりの会
 毎月第3木曜日 10:00~15:00
 6月17日(木) お布ぞうりづくり(要申込み) 7月15日(水) 午後のお楽しみは企画中
 やすらぎ会館(川口市社会福祉協議会) ☎ 080-5431-0123 (島田さん)

24 新座さいがい つながりカフェ
 月1回 土曜日 13:00~16:00
 6月13日(土) 絵手紙描き&懇談
 7月11日(土) 医療生協による健康チェック(予定)&懇談
 国家公務員宿舎 集会室
 新座市 ☎ 090-2402-9155 (谷森さん) ☎ 080-6023-2799 (福地さん)

31 相双ふるさとネットワーク
<http://namieimonikai.com/>

32 福玉・謡曲の会
 With Youさいたま和室
 ☎ 080-5532-7380 (薄井さん)

19 さいがい つながりカフェ
 心ゆくまでおしゃべりできます。お気軽にご連絡ください。
 月2回木曜日 11:00~15:00
 6月11日、25日(木)、7月9日、23日(木)、
 With Youさいたま 4F 和室
 (埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分) ☎ 048-601-3111 (さいがい・つながりカフェ)

25 青空あおぞら
 毎月第4日曜日 13:30~16:00
 6月28日(日) 双葉町復興支援員によるタブレット教室
 ※双葉以外の方も大歓迎、タブレットをご持参下さい。持っていない方もぜひご参加下さい。法律相談できます。
 新所沢公民館
 7/26(日) 納涼会 時間・場所調整中
 所沢市 ☎ 048-829-7400 (SSN)

★ 福玉便り発送
 6月26日(金) 7月24日(金) 13:30~
 おしゃべりにきてくださいね。
 福玉便りお送りします。
 ご希望の方にお送りいたします。ご連絡お待ちしています。

『福玉便り』編集委員会
 連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会
 電話048-833-8731 メール:fukutama@431279.com

住宅問題を考へる⑨ 45000筆の署名を、内閣府と福島県に提出 「自主避難 住宅提供終了」の報道をうけて

2015年5月13日、安倍晋三内閣総理大臣及び山谷えり子内閣府特命担当大臣(防災)あてに「避難用住宅の無償提供帰還の延長を求める署名」44978筆が提出されました。2014年11月〜2015年4月までの約5か月間に、すべて手書きで集められたものです。

署名を集めたのは「ひなん生活をまもる会」と、「うつくしま☆ふくしま in 京都」「震災支援ネットワーク埼玉」の3団体。各地で署名活動が行われ、全国から集まりました。

「ひなん生活をまもる会」の代表鴨下祐也さんは「避難生活が続くことが困難な圧力を感じる」と話します。

「昨年、内閣府宛の署名を16002筆提出しています。今年も当初「受け取れない」と拒否されました。「受け取れ



提供を続ける限り、帰還が進まない」とし、県に住宅提供の早期打ち切りを水面下で求めている。無償で住める家があることで、避難先での定着が進んでいるという事情がある。」



「被災市町村の一部は「無償提供を続ける限り、帰還が進まない」とし、県に住宅提供の早期打ち切りを水面下で求めている。無償で住める家があることで、避難先での定着が進んでいるという事情がある。」

「例えば、福島第一原発から30キロ圏の広野町では政府の避難指示は出ていないが、約5100人の住民のうち戻ったのは約4割にとどまる。これまで、自主避難者らの団体は『できるだけ長く続けて欲しい』と県に要望し、一部の市町村も配慮を求めている。」

「引用」福島県は避難先の住宅の無償提供を2016年度で終える方針を固め、関係市町村と調整に入った。反応を見極めた上で、5月末にも表明する。故郷への帰還を促進したい考えだ。だが、自主避難者からの反発が予想される。」

「子どもをこれ以上転校させたくない」「できる限り長く避難生活を続けたい」 そんな声もあります。 『福玉便り』がみなさんのお手元に届く頃には、何らかの正式発表が終わっているのかもしれない。」

ありがとうございます!
本誌の印刷は、『富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部』(社員ボランティア)の皆様にも全面的にご協力いただいております。
ありがとうございます!
「赤い羽根共同募金の災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)の助成金をいただいで、発行しています。



福玉便りのお届け作業と一緒に やってくださる方、大募集
6月26日(金)13:30-16:00ごろ
可能なお時間で、場所:埼玉労福協
労福協事務所が4階に移転しました。発送作業にお越しいただく際にはこちらにお集まりください...労福協048-833-8731まで。



福島原発事故 責任追及訴訟
7月1日(水)14:00 傍聴券配布 (さいたま地裁B館) 14:30 開廷(さいたま地裁)終了後、報告集会・懇親会(別会場)詳細:
<http://fukusaishien.com/>
福島原発さいたま訴訟を支援する会tel:048-960-0591